

## 当院で骨盤骨切り術を受けられた患者さんへ

「骨盤骨切り術の術後臨床成績調査」へのご協力をお願い（承認番号：M2022-057）

### ○骨盤骨切り術について

骨盤骨切り術は、骨盤のくぼみが浅い寛骨臼形成不全症のために股関節痛を生じ、歩行や日常生活動作に支障をきたした患者さんに対して、世界中で行われている標準的関節温存術(患者さん自身の股関節を温存する手術)です。しかしながら、10年以上の長期間が経過した場合には、徐々に軟骨が摩耗することもあり、最終的には人工股関節全置換術を要することもあります。また短期的にも、手術後に大腿骨と寛骨臼がぶつかる大腿骨寛骨臼インピンジメントなどの合併症の可能性があることがわかっています。

### ○骨盤骨切り術の術後臨床成績調査の目的

骨盤骨切り術の手術後の経過を調査することで、合併症の発生に関連する因子を特定することができます。それによって、骨盤骨切り術の成績をさらに良いものにすることができると考えられます。

### ○骨盤骨切り術の術後臨床成績調査の方法

この研究は、東京医科歯科大学医学部倫理審査委員会の承認および機関の長の許可を得て行われます。1990年1月1日以降当院で骨盤骨切り術を受けた患者さんのカルテから、年齢、性別、身長、体重、痛みの度合いや関節の可動域、手術前後のレントゲンやCT、MRIの画像検査、採血検査の結果を抽出し使用します。患者さんが、骨盤骨切り術によってどのように寛骨臼の形態が変化し、どのような経過となっているかを確認します。経過から、良好な成績に関連する因子や合併症に関連する因子を解析する予定です。解析にあたっては患者さんのお名前を匿名化します。個々人の患者さんにとっては、この研究のために新たに何かしていただくことはありません。日々の診察で得られる以上の利益はありませんし、また不利益を被ることもありません。また匿名化した情報を、他の病院と共有して研究を行う場合がありますが、個人を特定できるような情報は共有しません。さらにデータを他の研究に利用する場合は、研究計画立案時点で改めて倫理審査委員会に諮り、承認を得られた後に、本学生命倫理研究センターのHPにポスター掲示を行います。

### ○骨盤骨切り術の術後臨床成績調査へのご協力にあたって

ご自分の診察結果やレントゲン所見の結果がこの研究で用いられることを希望されない患者さんは、ご遠慮なく医師またはスタッフにお申し出下さい。今回のお願いに対して同意をするかどうかはあなたの自由であり、あなたの意思に基づいて決めてください。同意しないからといって、今後の診療に何ら不利益になるようなことはありません。

研究責任者（所属、氏名）：運動器外科学講座 講師 宮武和正

研究実施期間：医学部倫理審査委員会承認後から2027年3月31日まで

※研究に情報を使ってほしくない場合には、下記連絡先までご連絡ください。

### ○この研究成果の公表について

研究成果を論文等により公開いたします。公開内容には個人のプライバシーにかかわることは一切含みません。

### ○費用について

この研究に使用する情報は、すべて一般診療として執り行われたカルテ情報を使用します。それ以外の負担をお願いすることは一切ありません。本研究は大学の運営費を用いて行われます。また研究を実施するにあたり特定企業との利害関係はありません。本研究の実施にあたっては、本学利益相反マネジメント委員会に対して研究者の利益相反状況に関する申告を行い、同委員会による確認を受けています。

※利益相反とは、研究者が企業など、自分の所属する機関以外から研究資金等を提供してもらうことによって、研究結果が特定の企業にとって都合のよいものになっているのではないか・研究結果の公表が公正に行われないのではないかなどの疑問が第三者から見て生じかねない状態のことを指します。

以上の点につきましてご不明な点がございましたら、医師またはスタッフまでお問い合わせください。よろしくお願いたします。

東京医科歯科大学病院 整形外科（股関節担当）  
宮武和正、高田亮平

〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45

電話：03-5803-5678(ダイヤルイン)（平日 9：00～17：00）

苦情窓口：東京医科歯科大学医学部総務係

03-5803-5096（対応可能時間帯 平日 9:00～17:00）